

市議会だより

第33号 平成25年 2013 8月1日発行

発行/由利本荘市議会
 編集/議会報編集特別委員会
 〒015-8501 秋田県由利本荘市尾崎17番地
 電話/0184-24-6386
 FAX/0184-27-1793
 Eメール
 gikai@city.yurihonjo.akita.jp



市民の声

自分たちの住むまちを
よくするために



東由利地域
阿部 弘章

私は定年退職と同時に老人クラブ「蔵壮寿会」に加入した。当時の会長さんは青年会当時から良く知っている方で何事につけても一生懸命取り組み、老人会活動もいろいろ工夫され、生涯学習を地で行く活動をしている。年間の活動計画の中にはいろいろな講師をお願いしての勉強会を計画実施している。

その中には地元市議会議員(2人)を講師としてお招きし、市政報告を兼ねた市政の現況を教えていただく懇談会を開催している。

よく、市長と議会は車の両輪といわれているが、片方の車輪が大きかったり小さかったりすればバランスを失い脱輪しかねないものと思う。

市長は毎年1回、旧1市7町を回り、市民の声を聞く機会をもっている。

市議会議員は30人が地域に分散しているので市長の数倍一般市民と触れ合えていると思う。

一般市民として市政に参画してみても、自分たちの住むまちを自分たちでよくするために30人の議員をフル活用して自分たちの声を市政に反映してもらうべきでないかと考えている。(今年度の選挙から議員定数は26人)

永年勤続議員表彰



右から、今野(英)、若林、今野(晃)、三浦 士田、大関、長沼、高橋の各議員

第89回全国市議会議長会定期総会が5月22日東京都内で開催されました。永年にわたる市議会議員としての功績が認められ、8名の議員が表彰されました。(敬称略)

在職30年以上	三浦 秀雄
在職15年以上	土田 与七郎
在職10年以上	高橋 信雄
	若林 徹
	今野 晃治
	今野 英元
	大関 嘉一
	長沼 久利

インターネットで会議録公開中



市議会会議録検索システムにより、過去の会議録を公開しています。

一般質問などの内容を発言者やキーワードで検索できますので、市のウェブサイト市議会メニューからアクセスのうえご利用ください。

編集後記

暑中お見舞い
 申し上げます
 猛暑酷暑の次なる新語は何か？浅学の脳ミソで思いつくのは「狂暑燃暑」暑さも雨もほどほどに恵んでほしいものです。

旅先で偶然に見た映画「県庁おもてなし課」観光立県を目指す高知県知事の肝いりで発足したユニークな新部署、そこで働く若き職員奮闘記は全国の自治体のお手本になります。

内容はフィクションですが高知県庁に「おもてなし課」は実在し、この小説をテキストに観光の研修をする自治体も多いとか。

翻って、わが由利本荘市は宝の山へ鳥海山を核に観光振興が重要課題。道路・看板・トイレ・女性目線・おもてなしの心・本気度！これがキーポイントですね。(友)

かわいい園児の鼓笛隊パレード (6月22日、ひかり保育園)

平成25年 第2回市議会定例会(6月)

市議会基本条例案全会一致で可決 2 P	作佐部直 議員、高野吉孝 議員 8 P
会派代表質問	その他
創風、政和会 3 P	議長公務・交際費報告など 9 P
市民ネット、市民クラブ 4 P	常任委員会報告(Q & A) 10 P
フォーラム輝 5 P	定例会内容など 12 P
一般質問	関係私企業の請負契約などの状況報告など ... 15 P
今野晃治 議員、高橋和子 議員 6 P	市民の声、編集後記など 16 P
佐々木隆一 議員、伊藤岩夫 議員、湊貴信 議員 ... 7 P	

市議会基本条例案 全会一致で可決

平成25年
9月1日から
施行

市議会では、6月定例会最終日において議員発案による「議会基本条例案」を全会一致で可決しました。

この条例は、市議会が市民福祉の向上と市政の伸張に寄与することを目的に、市民に信頼される機関として担うべき役割と責務を果たし、市民の負託に応えられる議会を目指す、基本的事項を定めるものです。



議会改革委員会で審議 審議結果を議長へ提言

この条例の制定については、各会派から選出された7名の委員による「議会改革委員会」で、先進市の視察やパブリックコメントの募集及び全議員への説明による意見収集など、鋭意、検討を重ね、今定例会への上程となったものです。

条文については市ホームページをご覧ください。

審議の経過

- ①議会改革委員会.....計10回開催
第21回委員会（平成24年2月16日）から
第30回委員会（平成25年3月26日）まで
- ②起草委員会.....計8回開催
第1回委員会（平成24年7月6日）から
第8回委員会（平成24年11月14日）まで
- ③パブリックコメント
平成25年2月1日～28日

創風

人口減少対策について

佐々木 慶 治議員



質問 定住人口の維持に向けた取り組みについて伺う。

答弁 雇用確保のため、企業の人材育成の実践、技術・経営力の強化などによる企業立地の推進を図ると共に、農業6次産業化での雇用支援を進めていく。また出産・子育て支援については、一般不妊治療や、不育症への支援拡充も実施していく。

質問 大内地域の小学校統合の今後の計画は。

答弁 岩谷小学校も含めた3校の統合では、地域の広さによる通学距離の問題や、学校の位置など、様々な課題を検討する必要があることから、

まずは、上川大内小学校と下川大内小学校の統合を、早期に進めていきたいと考えている。

質問 地域商品券事業を復活させるための考えは。

答弁 平成23年度実績では、約57%が大型店で使用されており、地域の活性化を図るためには、地元商店での使用率を高める工夫が必要であることから、小規模店などの利用につながる形での実施に向け、商工会や事業者と協議をしているところである。

質問 文化交流館カダーレの駐車場不足の解消策は。

答弁 駐車場不足の抜本的な解決策としては、現在の消防庁舎移転後の跡地に、駐車場整備を検討していくが、それまでの間は、カダーレ周辺の空き地の活用などを考えており、今後も、駐車場確保のあらゆる可能性について検討を行い、利便性の向上と、イメージアップにつなげていく。

会派代表質問

政和会

まちづくりや雇用・観光・防災等について

三浦 秀 雄 議員



質問 合併後の市民の意識調査を行うてはどうか。

答弁 平成27年度以降の次期総合計画策定に市民の生の声を取り入れるため、おおむね5千人に対してアンケートの実施を予定しており、このアンケートで、合併後10年目の市民の意識調査も実施する。

質問 産業振興による雇用創出の具体的な取り組みについて

答弁 厳しい雇用情勢の改善には、農業、製造業に加え、観光産業などの地域特性を生かした産業振興が重要である。工業分野では市の優遇制度を広く周知した企業誘致活動を行う。地元企業活動の支援は、

新製品開発や販路拡大のための助成を行うなど、雇用の創出につなげる。地場産品を活用した商品の開発や観光産業を支援するセミナーの開催、さらに農業分野では付加価値の高い農産加工品の開発と雇用機会の拡大に取り組む。

質問 由利橋を活用した市内観光の振興策について。

答弁 JR東日本の「駅からハイキング」に提案した本荘夏まつりと由利橋、石脇の酒蔵を巡るコースが採択され7月に実施する。国民文化祭でも由利橋を含めた歴史探訪コースを計画している。ポートヤカヌー、船の遊覧などの組み合わせによる「街中水辺観光」の造成についても検討する。

質問 地震、津波、有事発生時の、市内中心部及び新興住宅地への情報周知について。

答弁 本荘地域沿岸部、岩城地域全域、西目地域沿岸部に津波対策として同報系防災行政無線の拡声装置を設置している。中心部及び新興住宅地を含む子吉川沿岸地域、本庁舎、各出張所、南内越公民館への設置も検討している。

市民ネット

国療跡地活用関連について

伊藤 順 男議員



質問 体育館の建設計画は、由利本荘市総合体育館(大内)・岩城総合体育館との相互連携による機能強化を念頭に規模を考えるべきでは。

答弁 市の既存体育施設(大内・岩城総合体育館含む)は100%近い利用率から、希望したすべての団体が満足して利用できる状況になく、将来的にも利用率が高い現体育館は市内外の各種大会のメイン会場の役割を果たしている。検討委員会での「中途半端な施設は避け、稼働率を上げていくべき」、「プロスポーツや全国規模の競技が開催できること」、「スポーツと防災機能を反映したアリーナ」など

の意見を反映。また、既存の総合体育館は地区大会相当への役割を分担。さらに多目的アリーナはコンベンション機能などにより交流人口の創出と地域活性化効果を想定している。

質問 大内地域遠距離通学対策と鳥海地域の遠距離通学の状況は。

答弁 大内地域は、現在「スクールバス・路線バス・コミュニティバス」による通学の児童生徒がいる。中学校の統合に伴い遠距離通学が必要な生徒には「スクールバス」通学を計画。運行計画案は5路線とし片道10キロから28キロ。統合時対象生徒は83名の見込みである。スクールバスによる通学は中心的課題であり、より良い運行計画になるよう協議を重ねる。

本年開校となった鳥海小学校を含めた鳥海地域の現状はスクールバス運行本数小学校8路線、中学校4路線で片道6キロから21キロ。鳥海小は間もなく2ヶ月を経過、児童の負担軽減と地域事情に配慮しながらきめ細かに対応する。

フォーラム輝

市全域の均衡ある発展について

本間 明議員



質問 市長の公約にあった「地域格差の是正と全体の均衡ある発展」における、定住自立圏構想の次期総合計画への継続性について伺う。

答弁 定住のために必要な生活機能を総合的に確保し、自立のための経済基盤や地域の誇りを育み、圏域全体を魅力あふれるものに形成すべく策定されたのが「定住自立圏共生ビジョン」だった。平成22年度から26年度までを計画期間として、施策事業を展開し、再来受診受付システム事業や、地域コミュニティバス運行事業など、市民生活に密着した分野に積極的に活用してきた。この制度の生みの親でもある

の意見を反映。また、既存の総合体育館は地区大会相当への役割を分担。さらに多目的アリーナはコンベンション機能などにより交流人口の創出と地域活性化効果を想定している。

質問 大内地域遠距離通学対策と鳥海地域の遠距離通学の状況は。

答弁 大内地域は、現在「スクールバス・路線バス・コミュニティバス」による通学の児童生徒がいる。中学校の統合に伴い遠距離通学が必要な生徒には「スクールバス」通学を計画。運行計画案は5路線とし片道10キロから28キロ。統合時対象生徒は83名の見込みである。スクールバスによる通学は中心的課題であり、より良い運行計画になるよう協議を重ねる。

本年開校となった鳥海小学校を含めた鳥海地域の現状はスクールバス運行本数小学校8路線、中学校4路線で片道6キロから21キロ。鳥海小は間もなく2ヶ月を経過、児童の負担軽減と地域事情に配慮しながらきめ細かに対応する。

椎川特別顧問から、有益な所見を伺いながら、次期総合計画に考え方を継承していきたい。

質問 伝統芸能の拠点となる施設の検討とは具体的にどういうことか。

答弁 本市には、平成23年に国の指定を受けた「本海獅子舞音楽」や、国記録選択無形民俗文化財である「猿倉人形芝居」、「鳥海山北麓の獅子舞音楽」など、ほかに誇れる多くの伝統芸能がある。特に「本海獅子舞音楽」は、鳥海地域の13の集落に伝承され、貴重な道具なども保存されていることから、これらを主体とした施設の検討を進めている。この施設では、後継者育成のほか、公開の場や映像と資料を通して、伝統芸能の由来などを学べる場として考えており、「次期総合計画」に向け検討している。



市民クラブ

全域の均衡ある発展と住みよいまちづくりの展開について

佐藤 勇議員



質問 合併からまもなく10年、その総括と次なる10年の本市の創造について。

答弁 市全体の一体性とパランスのとれた発展を目指してきた。合併までの市民アンケートなどでは市町長・議員定数の削減で経費の圧縮や広域的視点、新しい発想のまちづくりに期待するものが多くあった。合併後は事業投資額に関して「地域格差」はもとより、地域活力の低下を危惧する声を伺い、均衡ある発展が新市全体の持続的な成長につながるものと考えた。よって財政の健全化に取り組み、公債費負担適正化計画

目標の前倒しで達成することにも、定住自立圏構想などによる地域施策を展開してきた。「次なる10年の本市の創造」については、市民アンケートや有識者からの意見を参考に「市民と共に歩む」を信条に実践していく。

人口減少・少子高齢化社会に対応し、雇用創出の新産業創造や健康長寿社会の実現への取り組みなどに応える「新創造ビジョン」を想定している。

質問 市民サービスの維持向上について、事務事業の抜本的な見直しの具体策は。

答弁 第二次行政改革大綱に基づき、職員の定員管理、公の施設の指定管理者制度の導入、補助金の適正化など見直しを実施してきた。地方交付税の合併算定替えの段階的な減額が始まる27年度からの対応に向けた一層の見直しが必要と考えている。限られた人員、財源、施設を効率的かつ有効活用し、機能させるため全庁挙げて対処していく。

- 3分 創風、政和会
- 5分 フォーラム輝

- 4分 市民ネット、市民クラブ

6月定例会では、5つの会派(創風、政和会、市民ネット、市民クラブ、フォーラム輝)の代表が、施政方針や新年度予算など、幅広い分野にわたり当局へ質問を行いました。主な内容を抜粋してご紹介します。内容は発言時点のものです。

本会議 傍聴しませんか?

市議会本会議は一般公開されており、どなたでも自由に傍聴いただけます。一般質問での議員と市当局とのやり取りなど、緊張感ある議場独特の雰囲気をご存じの方も一度体験してみませんか? 予約などは必要ありません。本会議の日程に合わせて、直接傍聴席(市役所5階)にお越しください。(ケーブルテレビでも生中継します)

議会の動き

4月

- 10日* 会派代表者会議
- 15日* 議会報編集特別委員会
- 18日* 19日* 東北市議会議長会定期総会・視察 (秋田市)
- 22日* 産業経済常任委員会協議会
- * 国療跡地活用特別委員会協議会
- 24日* 市当局との連絡会議
- * 会派代表者会議

5月

- 9日* 議会運営委員会
- * 国療跡地活用特別委員会協議会
- 15日* 議会運営委員会
- * 市議会定例会本会議 (閉会)
- 22日* 全国市議会議長会定期総会(東京都)
- 23日* 会派代表者会議
- 30日* 議会運営委員会
- * 市議会定例会本会議 (会派代表質問)

6月

- 31日* 市議会定例会本会議 (会派代表質問・一般質問)
- 3日* 議会運営委員会
- * 市議会定例会本会議 (一般質問)
- * 議会報編集特別委員会
- 4日* 5日* 各常任委員会
- 7日* 国療跡地活用特別委員会
- 12日* 議会運営委員会
- * 市議会定例会本会議 (閉会)
- 17日* 市と市議会との合同地元要望
- 19日* 20日* 市と市議会との合同中央要望



地元選出国会議員への要望活動

- 26日* 議会報編集特別委員会
- 28日* 北海道江別市議会行政視察

一般質問

一般質問は5月31日・6月3日の2日間にわたって行われ、7人の議員が市政全般にわたる諸問題を取り上げ、当局の所信や見解をただししました。
各議員の主な質問と答弁の要旨は次のとおりです。
内容は、発言時点のものです。

本荘由利地域の雇用情勢と雇用支援対策について

会派 フォーラム輝
今野 晃 治議員



質問 本荘由利地域の雇用調整状況と今後の推移についての認識は。

答弁 TDKによる生産拠点の再編などにより、地域の雇用情勢は厳しい状況が続いている。また、秋田労働局の雇用調整動向調査によると、今後、雇用調整を予定している業種では、製造業や建設業で高い割合を示しており、雇用

環境は厳しい状況と認識している。雇用維持のため「雇用調整助成金」の交付を受けている市内の事業所は、本年3月時点で、昨年同期と同じ「24事業所」と、雇用状況改善の兆しは、見えていない状況である。

質問 地域の雇用状況から、地域中小企業経営実態と支援策、雇用支援対策について。

答弁 地域の製造業をはじめ、建設業、小売業など、厳しい雇用情勢が続いていると認識している。
本市における喫緊の課題は経済・雇用対策であり、新規雇用の奨励や、離職者の雇用促進を図るため、25年度においても、予算措置をした。
また、離職者再就職支援の資格取得に関する助成や、スキルアップのための研修会、

政府は地方公務員の給与削減はやめるべき

会派 日本共産党
佐々木 隆 一 議員



質問 政府は国家公務員の給与を7・8%引き下げるので、地方公務員も従うべきとしてから一方的に削減して交付するとしている。

答弁 このたびの「地方交付税法」改正による影響額は、1億7400万円と見込んでおり、交付税の減額は大きな痛手である。公務員の給与削減

環境は厳しい状況と認識している。雇用維持のため「雇用調整助成金」の交付を受けている市内の事業所は、本年3月時点で、昨年同期と同じ「24事業所」と、雇用状況改善の兆しは、見えていない状況である。



質問 昨年6月24日に施行された、文化施設のさらなる活

「女性担い手農業者認定制度」設立について

会派 政和会
高橋 和子 議員



質問 農業者の5割以上が女性である。農業及び地域社会を支える重要な担い手である。主たる農業者として意欲を持ち生産に取り組むことができようように制度を設け支援するべきである。

答弁 女性農業者を地域農業の重要な担い手と位置付け、意欲と生きがいを持つて農業に取り組めるように認定制度設立に向けて関係機関と協議する。



PC戦略セミナー

地域の活性化策について

会派 公明党
伊藤 岩夫 議員



質問 商店街と地域の活性化に関する取り組みについて伺う。

答弁 商店街を取り巻く環境は、全国的な問題として、郊外への大型店の進出による影響、後継者や、消費者の購買機会の多様化などがあり、大変厳しい状況と認識する。
商店街と地域の活性化に関する取り組みについては「意欲ある事業者」への支援策として、由利本荘市商工会と連携し、今年度、地域イベントの開催や人材育成事業を実施していく。



「地域の中核劇場・音楽堂」として活性化が望まれるカダレ

質問 第三セクターの統合における岩城地域3社の統合のメリットや経営方針について。

答弁 業種ごとの統合や地域ごとの統合について検討したが地域ごとの方が「業種を超えた事業展開が容易」「繁忙

第三セクターの温泉施設経営について

会派 市民ネット
湊 貴信 議員



質問 第三セクターの温泉施設経営について。

答弁 温泉施設は福祉と健康増進、地域活性化の拠点施設として大きな役割を担っている。依然として厳しい経営状況の中、自身の経営努力は当然だが「入湯税の見直し」や「アクセス」など、より利用しやすい施策を講じて経営基盤の強化へつなげたい。

議長公務・交際費 報告 (平成25年4月～6月分)

公務報告

月	日	行 事
4	1	月 議事事務局辞令交付式
4	5	金 秋田県立大学入学式(秋田市)
4	6	土 本荘由利総合運動公園野球場「水林球場」竣工修祓式・竣工式
4	8	月 本荘北中学校入学式
4	10	水 市商工会新入社員合同歓迎会
4	12	金 五十嵐俊幸選手WBCフライ級タイトルマッチ防衛戦激励(東京都)
4	13	土 会派代表者会議
4	17	水 市民生児童委員協議会総会
4	18	木 鳥海小学校開校式
4	24	水 本荘さくらまつり山開き/懇親会
4	26	金 東北市議会議長会定期総会/懇談会/視察(秋田市・仙北市)(～19日)
4	29	月 市老人クラブ連合会総会
5	4	土 市当局との連絡会議
5	6	月 会派代表者会議
5	7	火 鳥海山矢島口山開き
5	8	水 由利招魂社例大祭
5	13	土 佐久パルーンフェスティバル・佐久鯉まつり(～5日)(佐久市)
5	17	水 本荘水林球場リニューアル記念由利本荘市グラウンド・ゴルフ大会開会式
5	24	水 秋田由利牛振興協議会総会
5	26	金 市観光協会通常総会
5	29	月 国民文化祭市実行委員会総会
5	30	日 市体育協会理事・評議員会

月	日	行 事
5	9	木 議会運営委員会
5	10	金 平成25年度主要事業等説明会
5	14	火 本荘由利電気工事協同組合通常総会懇親会
5	15	水 市老人クラブ連合会本荘地区総会
5	16	木 秋田県日韓親善協会定時総会(秋田市)
5	17	金 市芸術文化協会連合会表彰式・祝賀会
5	22	水 議会運営委員会
5	23	木 本会議(閉会)
5	29	水 市商工会通常総代会
5	30	木 秋田公立美術大学開学記念式典(秋田市)
5	31	金 市管工事協同組合通常総会懇親会
6	1	土 全国市議会議長会定期総会(東京都)
6	2	日 会派代表者会議
6	6	月 日本海沿岸東北自動車道山形・秋田県境区間建設促進期成同盟会会計監査
6	7	火 チャレンジゼー2013in由利本荘
6	8	水 金メダリストと一緒にストレッチ
6	11	土 議会運営委員会
6	12	日 本会議(会派代表質問、一般質問)
6	13	月 市建設業協会総会懇談会
6	14	火 小友地区敬老会
6	15	水 北内越地区敬老会

月	日	行 事
6	3	月 議会運営委員会
6	8	土 本会議(一般質問)
6	12	水 各種期成同盟会監査(～4日)
6	17	月 高円宮賜杯第32回全日本学童軟式野球大会本荘由利地区予選開会式
6	19	水 本荘矢島会通常総会
6	21	金 議会運営委員会
6	22	土 本会議(閉会)
6	24	月 市との合同要望(市内・秋田市)
6	26	水 市体験型理数教育推進事業「秋山仁先生公開授業」懇親会
6	28	金 市との合同要望(仙台市・東京都)(～20日)
6	29	土 本荘地域町内会長協議会総会
6	30	日 齋藤栄一氏旭日小綬章受章祝賀会
6	31	月 公益財団法人本荘由利産学技術振興財団評議員会
7	1	日 西目高等学校同窓会「新志芽会」総会
7	2	月 北海道江別市議会会派行政視察
7	3	火 市再生可能エネルギーセミナー
7	4	水 公益社団法人日本青年会議所東北地区秋田ブロック協議会秋田ブロック大会
7	5	木 柳田弘氏旭日小綬章受章祝賀会
7	6	金 由利本荘ふるさと会連合会の集い/懇親会(東京都)

交際費報告

月	日	支 出 内 容	支出額
4	17	水 本荘さくらまつり山開き懇親会会費	2,000
4	18	木 東北市議会議長会総会時特産品土産代	5,103
5	4	土 佐久市歓迎夕食会会費	5,000
5	7	火 市観光協会総会懇親会寸志	3,386
5	8	水 市体育協会理事・評議員会寸志	3,386
5	9	木 本荘由利電気工事協同組合通常総会懇親会寸志	3,386
5	10	金 秋田県日韓親善協会定時総会・懇親会会費	6,000
5	12	日 東京東由利会定例総会・懇親会寸志(鈴木和夫議員代理出席)	10,000
5	14	火 市芸術文化協会連合会表彰式・祝賀会寸志	3,380
5	16	木 市商工会総代会寸志	3,380
5	17	金 市管工事組合総会寸志	3,380
5	19	日 ふるさと岩城会総会・懇親会寸志(渡部専一議員代理出席)	10,000
5	24	金 市シルバー人材センター会員交流大会会費(土田副議長代理出席)	3,500
5	26	日 子吉地区敬老会御祝い(佐藤賢一議員代理出席)	3,340
6	1	土 矢島地域敬老会御祝い(土田副議長代理出席)	3,400
6	2	日 市建設業協会総会懇親会寸志	3,386
6	8	土 北内越地区敬老会御祝い	3,380
6	10	月 小友地区敬老会御祝い	2,556
6	12	水 本荘矢島会総会寸志	3,386
6	17	月 日本母親大会・秋田県母親大会協力金	10,000
6	18	火 原水爆禁止国民平和行進協力金	10,000
6	21	金 市体験型理数教育推進事業「秋山仁先生公開授業」懇親会会費	5,000
6	22	土 由利地域敬老会御祝い(大関嘉一議員代理出席)	3,360
6	28	金 本荘地域町内会長協議会定期総会懇親会会費	3,000
6	29	土 齋藤栄一氏旭日小綬章受章祝賀会会費	6,000
6	30	日 市再生可能エネルギーセミナー懇親会会費	4,500
6	31	月 柳田弘氏旭日小綬章受章祝賀会会費	10,000
6	30	日 由利本荘ふるさと会連合会の集い寸志	20,000

甲事

件 数	3件
支出額	110,000

各月の交際費合計(甲事除く) (円)

	4 月	5 月	6 月
件 数	2件	12件	14件
集計額	7,103	58,138	87,968

北海道江別市議会会派行政視察

6月28日に、本市の「学力向上の取り組み」について、北海道江別市議会会派の行政視察が行われました。



現在のJR道川駅東口

質問 JR道川駅東口の整備について。
答弁 利便性、安全性を考えた次期総合計画の早い時期に組み入れるよう進めていく。

質問 コミュニティスクールの今後の設定への取り組みについて伺う。
答弁 今年度は道川小学校、西目中学校で試行し、今後は全小中学校への設置を目指し、条件の整った学校から指定していく。

期・閑散期の人員の適正配置で雇用の維持が図れる」「株主の理解が得やすい」などのメリットがある。
また、公共・公益的な非収益事業を担っていることもあり、経営の著しい好転は難しいと考えている。

国療跡地の利活用について

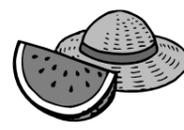


会派 創風
作佐部 直議員

質問 大型施設の建設による財政悪化が懸念されている。全体事業費の見込みと、今後に予想される関連事業費の総額は、また、市の負担軽減をどう図っていくか。
答弁 メンアリーナをはじめ、計画した施設をすべて配置し、周辺道路や雨水幹線整備などの関連工事を加えた場合、75億円を見込んでいる。財源としては、平成31年度まで延長された合併特別債を効果的に活用するとともに、都市再生整備事業や防災公園などに関する有利な補助事業の検討を進めている。

質問 大災害時のリスク分散の観点から防災エリア内に石脇消防分署を設置できないか。
答弁 来年度、美倉町地内に新消防庁舎が完成予定で、半径3キロ圏内の石脇地域にも対応でき、6分半以内に消火活動を開始するという国の指針にも合致することから、現在は想定していない。

質問 石脇地区は人口密集地であり、昼間の滞在人口も多い。アリーナ事務室内に出張所並みの窓口機能を置けないか。
答弁 アリーナなどの管理運営は、民間の経営手法による指定管理の方向で検討している。アリーナの行政窓口機能については、地理的な特性や昼間人口などを考慮しながら、今後その必要性について、総合的に検討していきたい。なお現在、本荘地域の出張所の窓口機能については、郵便局への各種証明書の発行業務委託や、「コンビニ交付サービス」などへの移行も含めて検討中である。



新山公園の整備計画について



会派 創風
高野 吉 孝議員

質問 新山公園は、石脇の大恩人石川善兵衛翁をはじめ、多くの先人の努力によって整備された景勝の変化に富んだ雄大な公園であり、本市の観光資源の一つである。一般市民の憩いの場や観光客を案内する公園としては整備の不備が指摘されているが。
答弁 バスが新山公園駐車場まで行けるように丁字路の拡幅について、今後、交通状況や用地関係などの現地調査を行いながら、実施に向けて検討する。手水舎については新山神社の所有物となっているので、今後、管理主体と水道引き込みについて協議する。石川善兵衛翁碑前広場の舗装は、年次計画によりほかの

公園整備を含め、緊急性の高いものから順次整備する。五峯山頂上にあずまや建設については、駐車場とのアクセス改善や外周柵などの安全施設も一体的に整備するため、次期総合計画において検討する。

質問 国療跡地及び国道7号へのアクセス整備について。
答弁 石脇通線の整備計画については、都市計画道路の見直しを図り、これとあわせ、国療跡地活用基本計画案の中にある、市道田尻石脇線についても、今後、関係機関との協議や調査を実施しながら次期総合計画の策定において検討する。



常任委員会報告(Q&A)

上程（議事日程に組み入れ、議題として審議の対象とすること）された議案は各常任委員会および特別委員会に付託されます。各委員会では、議案および報告事項について慎重に審議されています。

～ 議案審査の流れ～



建設常任委員会

Q、4月に前郷でマンホールが破損し公共桝から汚水が漏れる事案があったが、その原因と市内の他のマンホールの状況について伺う。

A、圧送管出口付近で発生した硫化水素が解放され、生物化学反応により硫酸を生成し、コンクリート腐食が進行したものと考えられる。また市内には426の同様のマンホールがあるが、その内、古いものから392箇所を点検し11箇所について内部剥離の異常が見られた。今後順番を決め、

来年度予算で補修を考えていきたい。

Q、住宅リフォーム資金助成事業の執行状況について伺う。

A、5月10日現在で144件の交付が決定している。また、予算額1億円に対し、補助金交付決定額は1307万5千円で、1件当たりの平均額は9万799円となっている。工事額の合計（事業効果）2億9071万3675円で、一定の事業効果はあるものと受け止めている。



市道猿倉花館線の現地調査

産業経済常任委員会

Q、西目パーキングエリアの無料休憩所の設置について、基本的な考え方と具体的な活用計画は。

A、西目パーキングエリアについては、自動車道の利用者に対し、本市の情報を発信できる唯一の施設であるという考え方で、西目地域に限定せず、各地域の観光、物産関係者の連携によって、由利本荘市全体のPRに活用したいと考えている。

また、市内の道の駅を運営する三セクや物産団地で、「西

目PA連絡会（仮称）」を組織し、休日など交通量の増える時期には、各団体当番制で人員を配置し、それぞれのPR機会を増やしていきたい。

Q、上り車線側にだけ設置した理由は何か。情報発信をしても次のインターは仁賀保であり、Uターンは出来ない。下り線にも設置すべきでは。

A、試行段階でもあり、国土交通省との協議により、交通量や利用度調査に基づいて、まず上り線に設置した。



現在の西目パーキングエリア

教育民生常任委員会

Q、平成24年度診療所運営特別会計において、歳出に対して歳入の不足が見込まれる事は、残念な事態である。

日常の事務管理を適切に行っているれば防げた事案でないか。

A、特別会計歳入において、診療報酬額確定が一月月遅れとなっており、年度末時点での歳入見込みの甘さは、ご指摘のとおりである。今後は適切な事務処理と十分な精査を行うっていく。

Q、消防庁舎建設工事に係る4件の入札を中止せざるをえなかった主たる理由を問う。

A、急激な円安進行や東日本大震災の復興需要に伴い、労務単価及び建築営繕単価が上昇したことにより、積算単価の見直しが必要であったためである。

Q、川内小学校で使用していた鳥海上野野プールについて、プール条例の一部改正を経ないで解体工事を発注したことは、事務手続上問題がある。



川内小学校とあわせて解体工事が発注されていた鳥海上野野プール

総務常任委員会

Q、消防庁舎の建設費、財源について昨年12月の見直しからさらに4億円以上約2割上昇している。労務費、営繕単価を理由としているが、市民感覚的に賃金は上がっており、理解しがたい。

A、国からの通達もあり、鉄骨材が50%上がり建築工事が26%、電気設備が10%、機械設備が26%、労務費が20%上昇している。

Q、耐震調査の結果、改築計画の矢島総合支所建設地は。

A、地元との協議の結果、現総合支所向の旧矢島高校跡地で進めている。

Q、耐震調査の結果を受け、総合支所のあり方、改築や増築の規模などどのように判断するか。優先順位や行政としての考え方を示すべきでは。

A、増築で済むのか改築が必要なのか、外部の「あり方検討委員会」からの答申を受け想定される規模を示して算出し、優先順位は、まず矢島、次に由利、そして大内とし由



改築予定の矢島総合支所

今後の利用状況を見ながら、両側に設置できるか検討していきたい。

ペレットストーブ設置に大館市と同等（上限20万円）の補助金を求める陳情については、慎重な審議の結果、本市にペレット生産の施設が無いことや、本市で現在進行している木質パウダーボイラーの導入事業があることから、個人的な支援や補助に等しくなるのでは、という意見が多く、趣旨採択すべきと決しました。

Q、市道猿倉花立線の通行止めについて伺う。

A、昨年の11月に路面に亀裂が入っていることを確認し、片側交互通行としたが、亀裂が徐々に拡大したことにより、全面通行止めとした。その後、冬期間に入ったため作業が出来なかったが、4月から測量や調査に入っている。夏場の観光シーズンに向け、お盆前には迂回路を開通させる計画を進めている。なお、迂回路は片側交互通行となる。

- 家畜糞尿処理施設改修事業 3013万6千円
- ナラ林健全化整備事業 2935万円
- 市有林管理事業 6518万円
- 商工費
- 雇用安定特別支援補助金 1000万円
- 省エネ改修支援補助金 1000万円
- 西目パーキングエリア活用事業 795万7千円
- 土木費
- 道路維持事業 1億3175万2千円
- 街路灯LED化事業 5000万円



菜の花まつり期間中の桃野畑地



消防庁舎建設予定地

消防費
消防庁舎建設事業
2億2152万2千円



現在の本荘公園遊具

急傾斜地崩壊対策事業 2640万円
吉野団地建設事業 3517万6千円
本荘公園遊具設置事業 1223万3千円

- 避難場所等照明灯設置事業 6480万円
- 避難路整備事業 2489万7千円
- 教育費
- 石脇・由利体育館耐震改修事業 1億1502万5千円
- 石沢体育館耐震改修事業 2944万7千円
- 岩城・松ヶ崎統合小学校スクールバス導入事業 8914万円
- アクアパル改修事業 3901万8千円
- 特別会計
- 診療所運営
- 医師送迎車購入及び看護補助員賃金等の増額 383万9千円
- 下水道事業
- 道川浄化センターポンプ等の修繕 688万9千円
- 集落排水事業
- 国の一次補正に伴う減額 4億7607万4千円
- 簡易水道事業
- 国の一次補正に伴う減額 1億5408万2千円

条例・予算など65件を承認・可決・同意

一般会計補正予算 **20億633万8千円** を増額

《条例関係》

議会基本条例の制定、一般職の職員の給与に関する条例改正など

- 避難場所等照明灯設置事業 6480万円
- 避難路整備事業 2489万7千円
- 教育費
- 石脇・由利体育館耐震改修事業 1億1502万5千円
- 石沢体育館耐震改修事業 2944万7千円
- 岩城・松ヶ崎統合小学校スクールバス導入事業 8914万円
- アクアパル改修事業 3901万8千円
- 特別会計
- 診療所運営
- 医師送迎車購入及び看護補助員賃金等の増額 383万9千円
- 下水道事業
- 道川浄化センターポンプ等の修繕 688万9千円
- 集落排水事業
- 国の一次補正に伴う減額 4億7607万4千円
- 簡易水道事業
- 国の一次補正に伴う減額 1億5408万2千円

補正予算の主なもの

平成25年第2回定例議会（6月）は5月15日から6月12日までの日程で開催されました。今定例会への提出議案は、専決処分報告16件、人事案件4件、条例関係11件、各会計補正予算関係20件、契約関係など、その他案件14件の計65件が上程され、各案件が慎重審議された結果、原案通り承認・可決・同意されました。また、継続審査中の「教育費無償化」の前進を求める意見書提出についての陳情を採択としたほか、陳情1件を趣旨採択、1件を継続審査としました。

一般会計

一般会計の歳入歳出それぞれ20億633万8千円を増額し、総額を464億5633万8千円とするものです。

- 総務費
- 子吉川遺跡公園用地取得事業 1億2700万円
- 地域の元気臨時交付金基金積立金 4億2954万5千円
- 民生費
- 岩谷保育園大規模改修事業 1627万7千円
- 上川大内保育園屋根改修事業 1702万6千円



ウェーブ岩城

衛生費
新山野墓園拡張整備事業 6331万6千円
ウェーブ岩城空調設備改修事業 2132万4千円

農林水産業費
桃野県営畑地総合土地改良事業費償還金助成金 8360万2千円

企業会計

- 水道事業
- 配水管布設工事工事請負費の増額 3499万7千円
- ガス事業
- ガス管布設工事工事請負費の増額 751万8千円

平成24年度一般会計

- 総務費
- 財政調整基金積立金 2億円
- 減債基金積立金 12億円
- 地域雇用創出推進基金積立金 2億5000万円

平成24年度特別会計

- 国民健康保険
- 国民健康保険
- 国・県支出金や共同事業交付金の確定による増額 1億3960万2千円

人事案件

- 教育委員会委員の任命
佐々田 亨 三氏
(岩城亀田大町・再任)
猪股 知 幸氏
(湯沢・再任)
- 監査委員の選任
佐々木 均氏
(船岡・再任)
- 人権擁護委員の推薦
佐藤 金 悦氏
(石脇・新任)

条例関係 (主なもの)

市議会基本条例の制定
市議会が市民に信頼される機関として担うべき役割と責務を果たすための基本的事項を定めることにより、市民の負託に応え市民福祉の向上と市政の伸展に寄与するためのもの。

関係私企業の請負契約などの状況報告

議会議員政治倫理条例にかかわる関係私企業との10万円を超える請負契約などについて、市長から5月15日付で報告がありましたので公表します。

関係する議員	高橋和子
請負人の氏名	秋田しんせい農業協同組合代表理事組合長 畠山勝一

事業名	内容	金額	契約年月日 または支払年月日	契約期間 または物品納入期日
物品などの購入	消耗品など物品の購入(1月分)	982,320円	平成25年1月30日	平成25年1月4日~30日
	消耗品など物品の購入(2月分)	1,930,825円	平成25年2月19日	平成25年2月4日~19日
	消耗品など物品の購入(3月分)	571,650円	平成25年3月31日	平成25年3月1日~31日
除雪機の修繕	除雪機の修繕	271,539円	平成25年1月23日	平成25年1月4日~23日
食の自立支援事業業務委託契約(単価契約)	在宅の一人暮らし高齢者などに対し、配食弁当を調理し、安否確認をしながら配布する	9,934,200円	平成24年4月1日~平成25年3月31日	
生きがい活動支援通所事業業務委託契約(単価契約)	閉じこもりがちな高齢者に対し、通所により日常動作訓練や趣味活動に関するサービス提供	2,296,000円		
要介護・要支援認定調査業務委託契約(単価契約)	介護保険法に基づく調査対象者に対し、要介護等認定調査を実施する	677,775円		
介護予防支援業務委託契約(単価契約)	介護保険法に基づく要支援1・2の対象者に対し、介護予防サービス計画の作成などを行う	2,080,680円		
ゆり高原ふれあい農場の資材などの単価契約	ゆり高原ふれあい農場の飼料、肥料、薬剤などの単価契約	1,463,645円		
大内畜産センター草地用肥料単価契約	大内畜産センター草地用肥料購入の単価契約	1,300,365円		

国療跡地利活用特別委員会報告

Q 今定例会の補正予算の内容について伺う。
A、国療跡地利活用事業に係る基本設計業務委託費5821万円、地形測量業務委託費480万円、先進地視察旅費31万1千円、および都市計画

関連事業調査業務委託費190万6千円、合計6422万7千円を補正するものである。
Q 基本設計業務委託の発注時期について伺う。
A、現在、議会特別委員会に

提示している基本計画案について、8月中旬をめどに委員会の合意を得た上で発注する。
Q 当事業に係る本市への経済波及効果について伺う。
A、建設時ペースで145億1400万円、運営開始後の維持管理や来場者等の消費活動に伴う単年度ペースで10億3000万円と試算している。

お知らせ

平成25年7月16日付で、「一身上の都合」により、堀川喜久雄議員から辞職願いが提出され、同日付で議長から辞職が許可されました。
これにより、市議会の議員数は、欠員1の29名となり、会派「創風」の所属議員が、8名から7名へ変更になりました。

市まちづくり協議会条例の制定
市民と行政との協働によるまちづくりを推進し、地域の課題解決および活性化を図ることを目的に、まちづくり協議会を設置するためのもの。

子ども・子育て支援法第77条の規定に基づき、子ども・子育て会議を設置するに当たり、その組織および運営について必要な事項を定めるためのもの。
市一般職の給与に関する条例等の一部改正
災害対策基本法、武力攻撃事態等における、国民の保護のための措置に関する法律または新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、本市に派遣されたほかの地方公共団体などの職員が、住所または居所を離れて、本市の区域内に滞在する必要がある場合に、その職員に災害派遣手当などを支給するため、また、職員の給料月額、期末手当、

勤労手当および地域手当を減額するため、条例の一部を改正するもの。
地域協賛会の設置等に関する条例の廃止
新たなまちづくり制度の構築に伴い、地域自治体および地域協賛会を廃止するもの。

その他案件(主なもの)

物品(救助工作車)購入契約の締結
救助工作車(II型)の購入のため、1億951万5000円で猿田興業株式会社と契約するもの。



購入予定の救助工作車

市本庁舎耐震改修(建築)工事請負変更契約の締結



耐震改修工事の中の本庁舎

耐震工事の結果、梁の補修が必要となったため、342万4050円を増額し、契約額を3億4135万8150円とするもの。

陳情

今定例会では、2件の陳情のほか、継続審査中の陳情1件が審査され、うち、1件が採択、1件が趣旨採択、1件が継続審査となりました。
採択
・「教育費無償化」の前進を求める意見書提出についての陳情

意見書

今定例会で採択された陳情の、委員会発案による意見書案が可決され、関係機関に送付されました。
委員会発案
・「教育費無償化」の前進を求める意見書

(秋田県ゆきとどいた教育を進める会
会長 沼田 敏明)

趣旨採択
・ペレットストーブ設置に大館市と同等の補助金を求める陳情
(東鮎川 木内 進)

継続審査
・ドクターヘリの安全運航と県民の安全・安心を守るため米軍機(F16とMV22オスプレイ)の低空飛行中止を求める意見書提出についての陳情
(秋田県平和委員会
理事長 風間 幸蔵)

請願、陳情の取り扱いについて

市政についての要望や意見があるときには、どなたでも市議会に請願・陳情を提出することができます。請願には紹介議員が必要ですが、陳情には議員の紹介は必要ありません。
請願・陳情は、その趣旨と住所、氏名を記載し、押印のうえ、議長あてに議会事務局へ持参または郵送で提出してください。なお、請願・陳情の提出について、ご不明な点がございましたら議会事務局(TEL 24-6386)にお問い合わせください。